

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ぐりーんバス運行事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	04	02	02	51
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課					
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	武田 淳					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	主に公共交通空白地域（駅徒歩圏外地区）の市民	意図	交通不便地域の市民に対し、最寄り駅との交通手段を確保することで交通利便性の向上を図る。
事業内容	ぐりーんバスの路線設定、ダイヤの管理を行う。また、既存路線についても利用の向上が図られるよう必要な対応・工夫を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年8月のつくばエクスプレス開業による市内公共交通体系の変化及び路線バスが再編成されるとともに、既成市街地と駅を結ぶぐりーんバスを導入しており、現在、5路線の運行を行っている。今後、事業の需要予測及び費用対効果等を考慮しながら、段階的に整備を進めていく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	利用者数（年間）	681,270	722,015	742,233	
②	1日当たり利用者数	1871.60	1983.60	2033.50	人	↑↑↑	
③	路線数	5	5	5	路線	→→	
④	停留所設置数	93	93	93	カ所	→→	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	・平成27年度も年間利用者数は増加しており、市民の重要な交通手段としての役割を果たしている。 ・平成27年度における5路線全体の収支率（運賃収入/運行経費）は69.7%であり、前年度（67.4%）を上回る結果となった。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		55,142,521	56,231,198	56,046,311			
事業費(b)(円)		44,157,421	46,052,598	42,916,511			
うち一般財源		44,157,421	46,052,598	42,916,511			
職員給与費(c)(円)		10,985,100	10,178,600	13,129,800			
人役・職員(人)		1.50	1.40	1.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	費用対効果の検証、経路周辺の土地利用や住環境を考慮した路線の検討に合わせて、バス利用促進のための取り組みを行う。	③取組の課題	需要予測調査を行った結果、一部の新規検討路線においては、現時点で導入に係る収支率の基準を満たさないことが判明した。
②今年度(H27)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> 新規路線検討に向けた需要予測調査を行った。 バス利用促進に向け、「おさんぼマップ」を作成し、車内及び広報ながれやまへ掲載した。 	④今後の改善計画	地元住民からの要望が強く、かつ導入に係る収支率の基準を満たさない新規検討路線については、周辺の最新の土地利用を加味した需要予測を行い、路線開設の可能性を模索する。